

事業所名

キッズサポート・きらら

支援プログラム

作成日

2024年

7月

1日

法人（事業所）理念	2008年に横浜市障がい児居場所づくり事業の一つとしてキッズサポート・どんとを開所以来、長きにわたって障がいのある児童・生徒に携わってきました。今後とも引き続き「お子様が通い続けられる楽しい場所づくり」「ご家族が気軽に相談できる関係性を築くこと」を大事にしていきます。また、社会福祉法人の一員として「地域の中で誰もが安心して生活できること」をめざし、「療育」・「福祉」の両面から皆様をサポートします。		
支援方針	・個別支援計画に基づき、各種プログラム活動を通じて支援をしています。さまざまな領域をもとに目標を立て、友達やスタッフとの関わりなどの中で取り組んでいきます。 ・当法人のさまざまな部署と連携しお子様やご家族をサポートします。		
営業時間	放課後 学校休業日	13時30分から 17時30分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	行動注意：注意転導、無関心等への対応。衝動性や問題行動等への対応。 活動：キッズ内の活動を上手に行えることを目指す。 情緒：自信がない、気持ちが崩れやすい、テンションが高い低いなど。	
	運動・感覚	粗大運動：歩く、走る、座る等。 微細運動：はさみ、描画、のり、指先関係。基本的に、巧緻性に関するもの。 操作：お茶を入れる、机を拭くなどを上手におこなう。 協調運動：体操、投げる、蹴る等。	
	認知・行動	基礎理解：基礎的な認知能力、操作（出す、入れる、見る、記憶、構成、型はめ等）。物の使い方がわかる、状況理解、物と物の関係の理解、活動の流れの理解など。主に言葉が出る前の時期。 手順の理解：手順を理解して係の仕事ができるように取り組む。 ルール理解：言語があっても、ルールの理解が悪い場合に取り組む。	
	言語 コミュニケーション	手段：要求等の手段の獲得。 ことば：言葉や身振りなどの理解・表出をすることで語彙を増やす。 会話：会話力をつける（質問する、質問に答える、話題を広げるなど）	
	人間関係 社会性	対人意識：1対1場面で、視線が合う、他者に合わせる（一緒に運ぶとか、交互のやりとり）など。 集団参加：複数の友達を意識してのやりとり。方法は、カードゲームやボードゲームを一緒にすることなど。初期の段階では、集団の中にいること、（スタッフの）お手伝いや他者に合わせることを含む。 調整的役割：集団のなかでリーダーになる、司会をする、他者の意見を聞く係等。	
遊び	遊びが少ない時などに、遊びを広げるよう取り組む。		
家族支援	・保護者向け勉強会などを通して障害福祉サービスの制度や仕組みについて学ぶ機会を提供する。	移行支援	・資源を広げる。必要に応じてどんとこい・みなみの一時ケア事業や基幹相談事業などにつなげる。 ・卒業生には作業所に渡す申し送り書を作成している。
地域支援・地域連携	・資源を広げる。必要に応じてどんとこい・みなみの一時ケア事業や基幹相談事業などにつなげる。	職員の質の向上	・法人内外による研修（人権研修・防災研修・ケース検討研修等）
主な行事等	・季節に合わせた制作活動（お正月・節分・こどもの日・七夕・十五夜・クリスマス） ・おやつづくり		